

書字文化

12 月号



ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

////////////////////////////////////

◇第8回伝統文化大会案内	2
◇コラム・こころ（書文協会長・大平恵理）	3
◇第8回展示交流会開催	4
◇中日青少年書画友好交流コンクールのブログ	8

フロントページの横タスクバーの右から2番目の「大会」にカーソルを当てると、各項目がスクロール表示されます。その中の伝統文化大会をクリックしてください。

第8回全国書写書道伝統文化大会

締め切りは来年 1 月 17 日



伝統文化大会は、(共催) 一般社団法人日本書字文化協会公益財団法人文字・活字文構共済 (後援) 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学、高校長協会、日本書写書道教育研究会、で開催されます。

構成するコンクールは2019年度全国年賀はがきコンクール2019年度全国学生書き初め展覧会の2つです。実施要項文中の後援、賞の(予定)はすべて取ってください。

年賀は指定課題のみ、書初めは自由課題もあります

参考手本のホームページ掲載は12月初旬

指定課題一覧・課題解説、実施要項は書文協ホームページに掲載されています。

参考手本はホームページ不具合で遅れました。12月初旬に掲載します。評価の観点は12月中旬掲載の予定。ホームページからダウンロードしてお使いください。なお、審査基準に「手本通りに」はありません。手本は字形、配置・配列などの参考にしてください。

◆印刷手本、応募用紙発売

印刷手本は12月上旬より発売。毛筆はA3判1枚93円×枚数＋消費税。硬筆はB5判原寸大1枚28円×枚数＋消費税。年賀はがきコンクールは、年賀はがき清書用紙か日本郵便はがきを使用。清書用紙は1枚12円×枚数＋消費税。100枚以上は1枚12円×枚数－代金の15% (割引) ＋消費税。送料は各自負担。申し込み用紙 (ホームページの各種用紙ダウンロード欄から) を使用し、書文協本部に申し込んでください。

スケジュール

◆団体宛て全審査結果通知

賞状・賞品と同時に審査結果通知書を2月下旬発送開始します。作品の記念アルバム (アルバム立付き)、表装の申し込みについても同時に送ります。

◆展示・交流・表彰式 3月上旬、東京で予定。

こ　こ　ろ

大平 恵理（書文協会長）

仲　間



要請を受けて九州での講習会に行ってきました。招いていたのは4人の先生方です。書文協では彼女らを“九州4人組”と呼んでいます。九州には他にも多くの先生がいらっしゃいますが、4人はかつて同じ団体に所属していたことがあり、より良い書教育を目指して独立されました。そして公共性が高い書文協と共に進むことを選択していただいたのでした。

博多に先着して迎えた翌日の11月30日は朝から晩秋の好天でした。福岡市内の会場では、福岡県内に拠点を持つ3人の先生の生徒さんだけでなく、先生方も熱心に受講されました。途中でお部屋を変え夜の8時過ぎまで熱心な講習が続きました。日頃、検定を受けている書文協の先生がどんな人物かと皆さん興味をお持ちだと思えば緊張しましたが、先生方から書文協会長として立ていただき、有難い限りでした。夜の博多駅は、クリスマスのムードが漂うイルミネーションがきれいでした（写真右）。



翌日は師走。長崎行の特急に乗るため7時前に集まりました。車中は2人掛け座席を相向かいにし、まるで女子会。それぞれが家庭や仕事のことをこもごも語り合いました。車窓から見える諫早湾の日の出があまりにきれいで、スマートフォンを向けました（写真左下）



約2時間、長崎駅では4人組の残る1人が出迎えてくれました。講習会では再び先生方4人も受講されました。終わって長崎空港に向かうバスが出るまでの間、書写書道の学びをめぐるいろいろなお話ができました。先生方が新硬筆検定に意欲を燃やしていただいていることが分かり、うれしい限りです。舞い上がった長崎の空はかすかに茜色残り、きれいでした。

書文協は流派にこだわらず、ともに進むことをモットーにしています。1人で頑張っておられる先生でもご連絡ください。時間があり次第向います。

第8回総合大会展示・交流会開催

中野ゼロホールで148点を展示 出品者が交流会 11/3

第8回全国書写書道総合大会の優秀作品展示交流会は11月3日、東京都中野区の区立もみじ山文化センター（中野ゼロホール）で開かれました。展示は「ひらがな・かききたコンクール」「全国学生書写書道展」「全国硬筆コンクール」の13261点のうち特別賞、総合の部の書字文化賞の合計148点（教育特別奨励賞はスペースの都合で展示せず）が飾られました。

展示場となった展示ギャラリーには多くの人が詰めかけ、作品の前で両親らと写真を撮る姿が見られました。交流会は第4学習室で開かれ、幼児から一般まで28人が参加。保護者らも多数で立ち見の方も多く、書文協では申し訳なく思っています。

交流会には加藤東洋、辻真智子の中央審査委員会正副会長も出席する中で、学業との両立や、将来の夢について語り合いました。また上位賞の受賞者の表彰も行われました。

書文協版eポートフォリオに注目集まる

書文協は検定・ライセンス試験、大会の成績を個人情報システムに蓄積し、適正な開示請求があればこれを成績証明書として発行しています。入試など学校教育で授業外の自主活動が重視されるなかeポートフォリオ制度（4ページに説明文）に関心が集まりました。交流会に参加した大学生の一人は「私はこの成績証明書で合格しました」と体験をカミングアウト、満員の会場は盛り上がりました。





(注) 記念写真等のデータは、該当写真に出ている
党大会出品者で、個人使用以外には拡散しないこと
を約束し、書文協が認めた方にのみ配布します。希
望者は、住所・氏名・電話番号・所属団体名を明記、
お持ちのEメールアドレスを書文協アドレス

(info@syobunkyo.org) に送ってください。

(注) 以下は交流会で配布された説明文です。幼児
の参加者のために、振り仮名をつけています。



e ポートフォリオとは

まなび きろく いんたーねっと ばしょ いいます がくがい
学びの記録をインターネットにためる場所のことを言います。ためるのは、学外
かつどう しかく けんていけっか ぼーとふおりお ほんらい いみ かみ
活動や資格、検定結果などです。このポートフォリオ(本来の意味は紙ばさみ)の
でーた りよう せんせい せいと しどう りよう だいがくにゆうし しりよう
データを利用して、先生が生徒の指導に利用、あるいは大学入試の資料にも使います。
せいと ばそこん おおく ばあい がっこう はいふ あいばっど がっこう でーた
生徒はパソコン(多くの場合、学校から配布されたアイパッドから)で学校にデータ
ていしゅつ せんせい み て じゅぎょう せいと じしゅかつどう じょうほう きょうゆう
を提出、先生はこれを見て、授業だけでない生徒の自主活動の情報を共有します。

大学入試の合否資料として利用

さいきん ふえ て だいがくにゆうし りよう ぜんこくきょうつう さいと こうこう
最近、増えてきたのは、大学入試での利用です。全国共通のサイトに高校から
でーた おくり だいがく み て さんこうしりよう かくだいがく がっこう
データを送り、大学がこれを見て、入試の参考資料にするのです。各大学とも学校の
じゅぎょうせいせき じしゅかつどう じゅうし
授業成績だけでなく、どんな自主活動をしてきたかを重視するようになったので
す。いま りよう さいと JAPAN ePort folio (じゃぱん^e
ポートフォリオ)があります。もんぶかがくしょう にゅうしかいかくすいしんいたくじぎょう おこなわれて
文部科学省の入試改革推進委託事業として行われてい
るもので、くわしくはこのサイトを見てください。

自主活動で重視される書写書道の学び

しよしゃしやうどう ただしく よみやすく にほんご かくちから み
書写書道は、正しく、読み易く、きれいな日本語を書く力を身につけるだけでな
く、じまち まなびつづける けいぞく ちから そだてます けいぞく ちから ぶんや
く、地道に学び続ける「継続する力」を育てます。この「継続する力」は、どの分野
をやるにしてもだいじです。それで、ポテンシャルティ(せんざいのうりよく)として高く評価さ
れるのです。

書文協のデータ保存システムを活用しましょう

書文協では、皆さんの学びの記録を最初からデータで他からは見られない安全な

場所に保管しています。ライセンス(資格)、検定受験、大会記録などです。本人と

教場の先生と一緒に請求してくれば。このデータを本人に開示します。ポートフ

ォリオにも利用してください。また、大学等への内申資料としても書文協認定の

成績表を発行します。手数料、送料が必要です、詳しくは書文協本部に問い合わせ
てください。



高大接続ポータルサイト

<https://jep.jp/>

運営：一般社団法人教育情報管理機構

会長 山崎 光悦（金沢大学学長）

加盟各大学の学長が役員を務めている。



中日青少年書画友好交流第1回コンクール

ブログ「私の中にあなたが、あなたの中に私がある」

—異文化交流の極致—

東京でこの2019年夏「第1回日中韓書教育交流展—教育・研究・文化」が開かれました。各国の書教育をリードする東京学芸大学(書道研究会)、北京師範大学(啓功書院)、ソウル教育大学(瑞硯会)が「東アジア書教育コンソーシアム(協同体)」を結成し、一体となって開いたものです。

会場には同大学関係者らが書いた作品が飾られ、筆会(席書の会)も開かれました。後日、掲載作品約140点を収録した図録を東京学芸大書道研究会の加藤泰弘教授(書文協中央審査会委員)からいただいたのですが、その冒頭に掲載されている各国代表者のあいさつ文を読んで、表題の一文に目を奪われました。

北京師範大学の鄧宝剣教授はこう述べます。

「われわれの風格には様々な差異が存在しますが、すべて同じ一脈のはるか昔の伝統からくるものであります」。中国で生まれた文字の長い歴史を踏まえての言葉であることは分かります。彼はさらにこう続けました。「中韓日3国の書法は、これら芸術の伝統を分有し、あなたのなかに私があり、私の中にあなたがある状況にあるといえます」。これを読んで「異文化を互いに理解しよう」と月並みな表現しか書けない私は、ウーンとなりました。

鄧教授は分有の例として、現代中国で尊敬されている書家、啓功先生の言葉を紹介します。啓功先生は、日本の能筆の僧、空海らを例に次のように述べました。「みな真行の規範として、中国の中唐以来、名家に影響を与えており、故に兄弟というべきものである」と。

日本側を代表する長野秀章・東京学芸大名誉教授(日本書道連盟理事、書文協中央審査委員)は、巻頭あいさつで「東京オリンピック・パラリンピックがある2020年は、日本で新しい書教育の実践がスタートする年でもある」とし「このイベントが東アジアの書文化に大きなインパクトとなる」ことに期待を示しました。

2020年から始まる書教育の新しい実践とは、授業のモデルを示す国の小・中・高校学習指導要領改訂を指しています。新学習指導要領は文化としての書写書道教育を強く打ち出していますが、その実践は、教育・研究にとどまらず漢字文化圏の文化交流を深めるきっかけになるものです。

「私の中にあなたがある・・・」。この言葉は、文化交流の太い柱となるでしょう。(筆者は一般社団法人日本書字文化協会専務理事、谷口泰三)

◆同コンクール日本側事務局ホームページ <https://yuukou.org/>